

# 鎌倉公園 農にふれあうエリア整備プラン

## 鎌倉公園の整備コンセプト

### 市の特徴的な農地の保全と農を身近に感じる都市公園

- ・将来にわたり小平市の原風景を守りながら、市民が農にふれ親しむことや、子どもへの環境教育などにより、次世代へ農を伝える公園整備を行います。
- ・たかの街道から見える農の景観を保全するために、短冊状の農地を残します。
- ・農にふれあうエリアでは、日頃から農に対して関心が持たれるような施策を展開します。

### 基本方針

- 農の風景の保全とみどりの創出
- 身近な身体・健康づくりの場の確保
- 防災・地域拠点の整備

鎌倉公園整備計画の詳細はこちらから↓



## 農にふれあうエリアの整備・運営の基本方針

### 農にふれあう「入口・きっかけの場」 次の活動へと「橋渡しする場」をつくり 小平市の農業を応援する人を増やし 次世代へ農を伝えます

- これまで農に興味や関心がなかった人、興味はあっても機会がなかった人、家庭菜園を始める前に誰かに教えてほしいなど、気軽に楽しい体験を通して、農について知ったり、考えたり、学んだり、農にふれあう「入口・きっかけの場」とします。
- 農にふれあう機会を増やすことや間口を広げることで、農業に関心を持つ人の裾野を広げ、小平市の都市農業への理解を深め、応援する人を増やします。
- 鎌倉公園での体験を通して農に関心を持った人たちが、継続して農と関わっていける場として、農業者が経営する体験農園<sup>※1</sup>や市民菜園<sup>※2</sup>を紹介するなど、次の活動へと「橋渡しする場」とします。  
※1 現在市内に5箇所、※2 市内に3箇所627区画(令和4年2月現在)
- 農にふれあうエリアで農に関わる学び、交流促進・コミュニティ形成、人材育成、情報発信に取り組み、次世代へ農を伝えます。

### 利用方針

- ・公園と農にふれあうエリアは、一体的な空間づくりを行い、公園を利用する方も自由に農にふれあうエリアに立ち寄り、散策するなど、農を身近に感じられるようにします。
- ・農にふれあうエリアで提供するプログラムは、小平市に在住・在勤・在学する方、小平市内の施設・団体(保育園・幼稚園・企業、高齢者施設や福祉施設、病院など)を対象とすることを想定しています。

## 【整備イメージ】



### 車両出入口・駐車場

- ・小平都市計画道路3・3・3号線側に、車両出入口、駐車場を整備します。

### 広場エリア <防災・地域の拠点の整備>

- ・災害時に利用できる設備を設置し、防災機能を兼ねた広場とします。
- ・レクリエーションなどの場として人々が集い、自由に過ごせる場、地域の行事やイベント等を行える空間とし、地域コミュニティの場として活用します。

### 健康エリア

#### <身近な身体・健康づくりの場>

- ・気軽に健康づくりができるよう、健康遊具を設置します。
- ・適度なランニングができるよう、周回路を設置します。

### 子ども遊具・遊戯エリア

#### <身近な身体・健康づくりの場>

- ・小さな子どもでも遊ぶことのできる多様な世代に対応した整備を行います。

### 外周部

- ・小平都市計画道路3・3・3号線、鎌倉街道に接する部分に、緑の中で安らぎ自然を感じられる散策路を整備します。
- ・たかの街道・山王通りに接する部分は、既存の歩道に加え、公園内の一部を歩道形態として整備することで、歩行者の安全対策を図ります。

### 拠点ゾーン

- ・拠点施設(建物)と一体的にフレキシブルに利用できる芝生広場・舗装広場を配置します。
- ・小規模なイベントを舗装広場や芝生広場で行います。
- ・畑や草花植栽を眺めながらゆったりと憩える空間とします。

### ○拠点施設(建物)のイメージ

- ・休憩スペース
- ・飲食販売、直売スペース
- ・情報発信コーナー
- ・農体験の講座などに利用できる多目的室 など

### 管理棟機能・バックヤード

- ・建物の西側・北側に管理棟機能や倉庫、屋外のバックヤード空間を配置します。

### 農にふれあうエリア <農の風景の保全とみどりの創出>

#### ○整備方針

- ・短冊状の農地や果樹栽培地などの既存の農風景や資源を活かした整備を行います。
- ・隣接するエリアと一体的・連続的に利用できる空間とします。
- ・誰もが農にふれあう機会を持てるよう、バリアフリーやインクルーシブに配慮した整備を行います。
- ・自由に農にふれあうエリア内を散策して、農を身近に感じられるようにします。  
※安全面などを考慮して、夜間は施錠管理を行います。

#### ○提供するプログラムの基本的な考え方

- ・見て、知って、体験して、食べてと、オールラウンド・多面的に農にふれあえる場を提供します。
- ・誰でも気軽に参加できるイベントを定期的で開催します。マルシェ、収穫祭、ワークショップなど
- ・農への興味を喚起するワークショップ・講座を開催します。
- ・畑、ハーブ・草花植栽地、見本園を活用して、収穫体験・栽培体験プログラムを提供します。

イメージ写真 上・中段：杉並区成田西農業公園パンフレットより引用

### 畑

大人、子ども、家族、団体で利用できる、収穫・栽培プログラムを提供します。



### インクルーシブエリア

レイズドベッドを用いた、障がいを持つ方や屈んで作業しづらい高齢者が使いやすいエリアを設けます。



### 見本園

身近な果樹の花や果実等が実る様子を知る・学ぶことができる見本園を設けます。

